

エコアクション21

環境活動レポート

(平成20年度)

試行運用期間:平成19年12月～平成20年2月



目次

1. 環境方針
 2. 事業概要
 3. 取組自己チェックの評価
 4. 環境への負荷のチェックリスト
 5. 環境目標とその実績
 6. 中長期目標
 7. 環境活動計画の内容と取組状況及び評価結果
 8. 経営者による評価・見直し
 9. 環境関連法規制等の遵守状況
 10. 環境上の緊急事態への準備対応
 11. 苦情への対応の流れ
 12. 問題点の是正・予防処置
- 補足資料

杉森印刷株式会社

本社工場・浜松中央営業所・磐田営業所

(作成日:平成20年3月25日)

1. 環境方針

<基本理念>

杉森印刷株式会社は「環境と調和する印刷事業」を目指して

地球環境の改善に積極的に取り組みます

～従業員一人ひとりがそれぞれの立場に応じて環境問題について考え、

仕事を通して出来ることから地球環境保全に取り組んでいきます～

<基本方針>

1.環境目標を設定しEMS(環境マネジメントシステム)を推進します。定期的な見直しを行い、継続的改善に努めます

2.重点活動テーマとして、以下の項目に取り組みます

- ① 事業活動に伴う資材の購入・利用にはグリーン購入を推進し、負荷の低減並びにリサイクル化に努めます
- ② 化学物質管理(PRTR 対象物質の使用量削減)に努めます
- ③ 二酸化炭素排出量の削減に努めます
- ④ 廃棄物排出量の削減に努めます
- ⑤ 水使用量の削減に努めます

3.環境に関する法規制を遵守し、環境保全と汚染の予防に努めます

4.全従業員が環境方針を周知徹底し、それぞれの役割を認識し、方針に沿った活動ができるよう教育します

環境方針、環境レポートは広く社内外に公開します

制定日 平成19年10月20日

改訂日 平成20年07月08日

杉森印刷株式会社

代表取締役 杉森 由幸

2. 事業概要

1. 事業活動の概要

(1) 事業所名及び代表者名

杉森印刷株式会社 代表取締役 杉森 由幸

(2) 所在地

【1】本社・工場 〒434-0015 静岡県浜松市浜北区於呂2443-5

TEL:053-588-7711 FAX:053-588-7795

【2】浜松中央営業所 〒433-8122 静岡県浜松市中区上島5丁目3-7

TEL:053-471-8899 FAX:053-471-6699

【3】磐田営業所 〒438-0086 静岡県磐田市見付2934-1 石橋ビル2F2号室

TEL:0538-36-0577 FAX:053-588-7795

(3) 環境保全関係担当者

環境管理責任者…若尾 行則

事務局担当者…大城 竜也、横田 猛

※連絡先 TEL:053-588-7711 FAX:053-588-7795

メール:sugimori@poplar.ocn.ne.jp

(4) 事業の内容

印刷業 (名刺から美術印刷までの企画・印刷製本)

(5) 事業の規模

従業員:47名

【本社・工場】 総床面積:2145㎡ / 敷地面積 3313.5㎡ 【900坪】

<第一工場> 250坪(1F・2F 含む)

<第二工場> 300坪(1F・2F 含む)

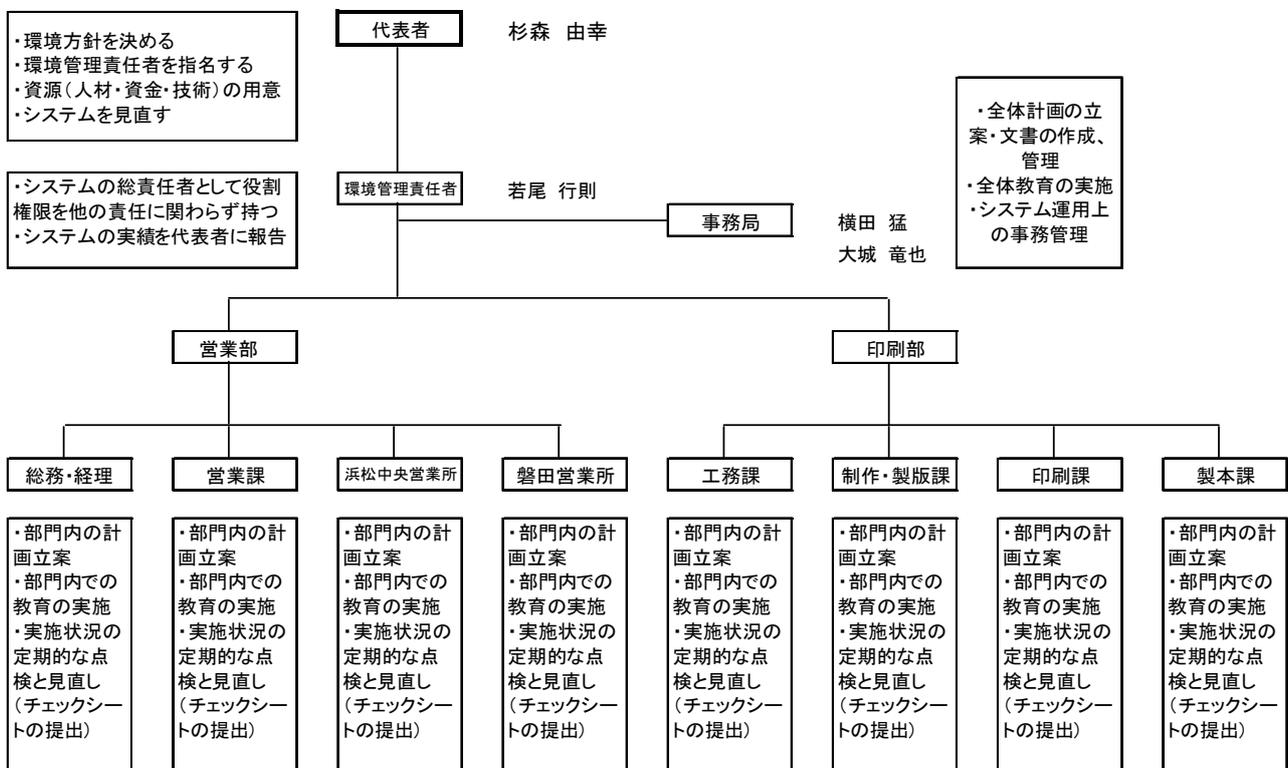
<輪転工場> 100坪

(6) 事業の規模

項目	単位	平成17年3月～ 平成18年2月	平成18年3月～ 平成19年2月	平成19年3月～ 平成20年3月
生産金額	百万円	487	434	454
従業員数	人	53	50	48
床面積	m ²	3313.5	3313.5	3313.5

(7) 組織図及び実施体制

杉森印刷株式会社 エコアクション21 組織図及び実施体制



3. 取組自己チェックの評価

1. 事業活動へのインプットに関する項目

- 1) 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大
今後コピー・パソコン・プリンター等の導入については、情報をしっかり収集し省エネルギー対応(節電等)を充分考慮し導入していきたいです。
- 2) 省資源、グリーン購入
再生紙の使用等、得意先にも積極的にPRしています。反面メーカーの品薄等があり一部商品に納期遅れもありました。
- 3) 節水、水の効率的利用
節水チラシ等で呼びかけを徹底しました。今後は蛇口に節水こまの設置を考えていきたいです。

2. 事業活動からのアウトプットに関する項目

- 1) 二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止
エアコンの適正温度は徹底されています。今後はフィルター等の清掃も含め、設備の保守点検を定期的に行っていきます。
- 2) 化学物質対策
現状廃棄処理メーカーに依存してしまっているため、講習に参加して専任管理者を指定します(10月予定)。
- 3) 製品の開発・設計等における環境配慮
得意先の環境への積極的な取り組みもあり、再生紙及び大豆インキ等の使用が大幅に増えました。また行政等においては環境データの提供も義務化されており、これも徹底されています。
- 4) 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理
事務所・制作部において両面コピー・使用済み用紙の裏面利用、また封筒再利用もよく徹底されています。
- 5) 排水処理
全社あげて下水・排水口の清掃を2回実施しました。今後も継続して清掃を行い適切な排水処理、定期点検に努めます。
- 6) 輸送に伴う環境負荷の低減
今後の車両導入については排ガス・騒音規制に適合したものを導入していきます。また日常的にはアイドリング・ストップを意識しエコドライブに努めます。

3. 環境経営システムに関わる項目

- 1) 環境保全のための仕組み・体制の整備
法規制についてはまだはっきりと把握出来ていないので、行政等の指導をいただきながら正確に把握するよう努めます。
- 2) 環境教育、環境保全活動の推奨等
ちよいエコ宣言等、環境に対する関心をもつようにはなったがまだまだ環境経営についての認識がうすい社員もいるので社内講習会等を開いて意識の向上に努めます。
- 3) 情報提供、社会貢献、地域の環境保全
外部からの意見・情報を積極的に取り入れると同時に当社の活動について取引先の協力を求めています。

4. 環境への負荷のチェックリスト

環境への負荷の状況(取りまとめ表)

年(18年3月~20年2月)

		単位	18年	19年	年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	3231180	3101581.3	
	化石燃料	MJ	1291181.3	1174205.6	
	新エネルギー	MJ	0	0	
	その他	MJ	0	0	
② 総物質投入量	資源投入量	t	629.545	605.813	
	循環資源投入量	t	0	0	
③ 水資源投入量	上水	m ³	736	756	
	工業用水	m ³	0	0	
	地下水	m ³	150	150	
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	209541.64	196998.87	
		Kg-CO ₂			
		kg-CO ₂			
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.14	0.16	
	公共用水域への排出	t	0	0	
	土壌への排出	t	0	0	
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t	616.6	593.96	
	環境負荷低減に資する製品	t	0	0	
	容器包装使用量	t	0.391	0.383	
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	t	0	0	
	再生利用	t	61.865	77.377	
	熱回収	t	4.456	5.257	
	単純焼却	t	0.36	0.38	
	その他	t	0	0	
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量	t	0.59	0.74	
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m ³	0	0	
	下水道	m ³	886	906	
	BOD	g	0	0	

コメント: 環境への負荷の状況をみると、印刷業である当社は、紙を大量に使用するため、試し刷りによるヤレ紙(損紙)や過剰予備またミスによる刷り直し等を減少させることが資源の節約=環境負荷の削減に寄与するものと思います。

詳細資料: 平成18年3月~平成19年2月 環境負荷チェックシート.xls
平成19年3月~平成20年2月 環境負荷チェックシート.xls

5. 環境目標とその実績

項目	因子	単位	基準年(H18年)		運用期間(H19.10~H20.1)				評価	
			実績	売上高原単位	削減目標	目標値	実績	売上高原単位		前期比
			絶対値	/百万円	%	/百万円	絶対値	/百万円		
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	72,550	525.7	-1%	520.5	63,320	442.8	84.2%	◎
化石燃料	購入電力	kWh	100,755	730.1	-1%	722.8	89,868	628.4	86.1%	◎
	灯油	L	523	3.8	-1%	3.8	378	2.6	69.7%	◎
	LPG	kg	4,297	31.1	-1%	30.8	3,138	21.9	70.5%	◎
	ガソリン	L	3,404	24.7	-1%	24.4	2,850	19.9	80.8%	◎
	軽油	L	4,709	34.1	-1%	33.8	4,714	33.0	96.6%	○
廃棄物排出量の削減		ton	21.30	0.15	-1%	0.15	23.15	0.16	104.9%	×
水使用量の削減		m ³	287	2.08	-2%	2.04	261	1.83	87.8%	◎
PRTR対象物質の削減		kg	60.3	0.44	-5%	0.42	71.6	0.50	114.6%	×
グリーン購入の推進		使用数	173	1.25	+2%	1.25	182	1.27	101.6%	○
売上高(10月~1月)		百万円	138				143			

コメント:「廃棄物排出量の削減」以外の項目については目標を達成し満足できる結果となっています。全社的な取り組みとしてはまだまだ未熟で多くの所で改善が可能ではないかと思われます。また、廃棄物排出量の削減については、年末時の不要在庫の一斉処分と過剰のヤレ紙の処分を行ったため、目標値を達成できませんでしたが、今後も印刷予備紙の見直しと、ミスの防止を徹底することにより、廃棄物の削減に努めたいと思います。また、製版や印刷部においては、各種化学物質の内容を十分把握し、今後の使用を極力控えていきます。営業部門については営業活動を工夫すれば軽油等の使用削減が出来ると思います。

6. 中長期目標

項目	因子	単位	基準年(H18年度)		平成19年~22年目標実績			
			実績	売上高原単位	削減目標	削減目標	削減目標	削減目標
			絶対値	/百万円	%	%	%	%
					19年	20年	21年	22年
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO2	209,542	482.8	-1%	-1%	-1%	-1%
化石燃料	購入電力	kWh	328,706	757.4	-1%	-1%	-1%	-1%
	灯油	L	2,019	4.7	-1%	-1%	-1%	-1%
	LPG	kg	6,434	14.8	-1%	-1%	-1%	-1%
	ガソリン	L	8,662	20.0	-1%	-1%	-1%	-1%
	軽油	L	15,560	35.9	-1%	-1%	-1%	-1%
廃棄物排出量の削減		ton	67.27	0.16	-1%	-1%	-1%	-1%
水使用量の削減		m ³	886	2.04	-2%	-1%	-1%	-1%
PRTR対象物質の削減		kg	181	0.42	-5%	-5%	-3%	-3%
グリーン購入の推進		使用数	173	0.40	+2%	+2%	+1%	+1%
売上高(3月~2月)		百万円	434		454			

コメント:基本的なスタンスとしては出来ることから実施し、目標達成を実現していこうと考えています。そのため、目標値は若干控えめですが常に現状を把握し、課題を全社員に徹底し取り組んでいこうと考えています。また、グリーン購入についても得意先に、積極的にPRし、拡大に努めていくと同時に、運用期間の反省から特に主材料である紙の損紙(ヤレ紙)の削減に努めていきます。

7. 環境活動計画の内容と取り組み状況

①二酸化炭素の削減

(1)電力の抑制

- 室内空調は夏は28度以上、冬は20度以下に設定する。
- 休憩時間は事務所以外は、消灯し、OA 機器も省電力に努める。

(2)自動車燃料(ガソリン・軽油)の効率化

- 無駄のない営業計画を作成し、効率の良い運転に心掛ける。
- アイドリング防止の徹底。

(3)液化石油ガス(LPG ガス)の効率化

- 輪転工場でのから回しの防止

②廃棄物の削減(紙使用量の削減と再利用)

- 損紙(ヤレ紙)の1%削減をする。
- コピー等は両面使用を心掛ける。
- 書類の電子化により、紙資源を削減する。
- ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進する。

③PRTR 物質の削減

- 環境に配慮した代替製品の調査・研究をし導入する。

④水使用量の削減

- 手洗い・ローラー洗浄等、こまめな節水に心掛ける。
- 節水のポスターなどを掲示し、節水意識の向上を図る。

⑤グリーン購入の推進

- 大豆インキ・再生紙等の購入。

⑥その他

- 個人の環境カードを作成し、環境意識の向上と実践に努める。

7-1-1. 取組状況(チェックシート1)

取組み項目	担当責任者	取組み期間					
		11月	12月	1月	2月	3月	4月
①二酸化炭素の削減							
①-1電力の抑制							
室内空調の温度設定	荒木	目標設定	見直し	実施	実施	実施	見直し
休憩時間の消灯	荒木	目標設定	実施	実施	実施	実施	実施
①-2自動車燃料の効率化							
無駄のない営業活動	中谷	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し
アイドリング防止の徹底	中谷	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し
②廃棄物の削減							
予備紙(ヤレ紙)の1%削減	大城	目標設定	実施	実施	実施	実施	実施
コピー等は両面使用を心掛ける	横田	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し
書類の電子化により、紙資源を削減する	横田	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し
ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進する	横田	目標設定	実施	実施	実施	実施	実施
PRTR物質の管理と削減をする	大城	目標設定	実施	実施	実施	実施	実施
③水使用量の削減							
手洗い・ローラー洗浄等、こまめな節水に心掛ける	大城	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し
節水のポスターなどを掲示し、節水意識の向上を図る	大城	目標設定	実施	実施	実施	実施	実施
④グリーン購入の推進							
大豆インキ・再生紙等の購入	大城	目標設定	実施	実施	実施	実施	見直し

7-1-2. 取組状況(写真など)

2007年11月1日 12:30~13:00 食堂にて

従業員一同が、食堂に集まって、エコアクションキックオフ宣言をしました。



エコアクション21

取り組み内容として、ポスターを作成し社内に掲示をしました。

◇ ポスター



←節水よびかけ小ポスター



毎週月曜日に実施する朝礼の場所<第一工場> (左) と食堂 (右) に設置しました。



←外来者や納入業者の協力を得るため立看板を作成し、入り口正面からみえる位置に設置しました。

◇エアコン用（テブラなどで対応しました）

室内空調は夏期は**28**度以上、冬期は**20**度以下に設定しましょう

◇電気・水道用

こまめに節電を！ **こまめに節水を！**

◇現場用

自分の作業場を片付けてから帰ろう

使ったものは元へ戻す

経費節電！ 経費節水！

やらまいか節電！ やらまいか節水！

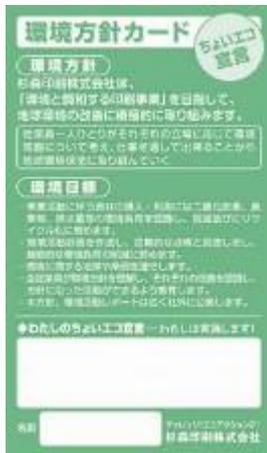
自分の作業場を片付けてから帰らまいか

使ったものは元へ戻すコト 使ったものは元へ戻す

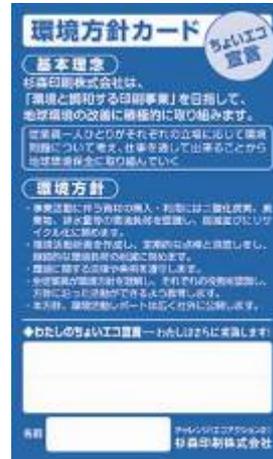
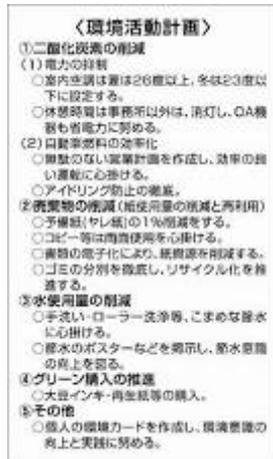
こまめに節電を！ **こまめに節水を！**

※意識向上のため、シールを作成し関係場所に貼りました。

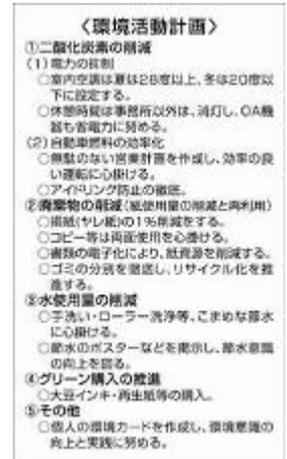
社員が常に携帯しているカードです (ちょいエコ宣言)



平成 19 年度



平成 20 年度



◇ごみの分別（色分してゴミ箱を作り捨てています）



7-1-3. 取組活動の結果の評価

取り組み項目	評価
①二酸化炭素の削減	全体的には環境負荷に対する意識の向上がみられ、わずかではあるが、数値的には改善された。
①-1電力の抑制	社内の節電意識が高まり、消費電力の低減が出来たが、さらに見直しを行い、より一層節電に心掛けたい。
室内空調の温度設定	
休憩時間の消灯	
①-2自動車燃料の効率化	1. 社内にお客様、外注、納品車に対するアイドリングストップをポスターにて呼び掛け、協力をお願いした。 その結果、当社従業員はもちろんのこと来社する方々も協力して頂けるようになった。 2. 自動車燃料の効率化については、月々の給油を記帳した結果、燃料があまり削減することは出来なかった。毎日の営業効率を良くするために、朝の会議で毎日予定の立て方を考えるよう指導する。
無駄のない営業活動	
アイドリング防止の徹底	
②廃棄物の削減	印刷予備紙の1%削減を目標に見直しを行い、実践してきましたが、ミス・トラブルによる再印刷などにより損紙低減が達成できなかったため、更なる作業方法、予備紙の見直しを行う。 コピー等の紙資源の削減についても、見直しをして、損紙低減に努める。 ごみの分別についても、ゴミ箱の色分け、ラベル作成を実施し、リサイクル資源の有効活用、ゴミ減量意識の向上に努めている。
予備紙(ヤレ紙)の1%削減	
コピー等は両面使用を心掛ける	
書類の電子化により、紙資源を削減する	
ゴミの分別を徹底し、リサイクル化を推進する	
PRTR物質の管理と削減	溶剤の内容をオペレータがしっかり把握出来ていないため、必要以上に使用している。今後は、種類や量をしっかり管理・使用に心掛ける。
③水使用量の削減	モルトンローラー洗浄時の水の垂れ流しの防止、節水ポスターの掲示により、意識の向上が見られる。
手洗い・ローラー洗浄等、こまめな節水に心掛ける	
節水のポスターなどを掲示し、節水意識の向上を図る	
④グリーン購入の推進	インキは見直しをして、エコマーク商品への転換を進行中です。紙についても再生紙等の継続購入、使用を心掛ける。
大豆インキ・再生紙等の購入	
⑤その他	ちよいエコ宣言を実施したことにより個々の環境への意識の高まりが図られた。
環境意識の向上と実践	

8. 経営者による評価・見直し

エコアクション21の運用期間中の取り組みについては社員がそれぞれに目標をつくり(ちょいエコ宣言)実践する中で廃棄物に対する意識の向上がみられた。それらは使用電力・Lpg・ガソリンの消費量の減少に現れた。

しかし、取り組みに対し、年末から年始にかけて工場内のヤレ紙や未使用在庫品・予備品の一斉廃棄・整理をしたため、廃棄物排出の削減達成は出来なかった。

今後は、それらを踏まえ、達成されたものはいろいろな仕掛けで更なる使用効率の向上を追求し、削減出来なかった廃棄物排出は、印刷予備紙の基準を機械毎に提示し、徹底すること、失敗しても安易に予備紙を出すことなく、オペレーター一人ひとりが一枚の紙も無駄にすることのないよう意識改革をする。それらが技術の向上につながっていくと思う。

営業も無駄のない営業行動・ルートで軽油・ガソリンの効率使用に努め、リーダーは営業日報を毎日チェックし目標達成に近づける。

各従業員の役割分担をしっかりと決めて平成20年度も環境方針、環境目標、活動計画は、運用期間と同じ内容で取り組んでいこうと思う。

平成20年3月25日

杉森印刷株式会社

代表取締役 杉森 由幸

9. 環境関連法規制等の遵守状況

平成20年3月25日
環境責任者 若尾 行則

環境関連法規への訴訟、有無

法律名	該当環境側面	要求事項	届け出	業者契約	違反訴訟
環境基本法	公害防止 廃棄物への対応				無
廃棄物処理法	残ったインキ缶等	適正処理の義務		○	無
騒音規制法	印刷機騒音	規制基準の遵守	○		無
振動規制法	印刷機振動	規制基準の遵守	○		無
悪臭防止法	有機溶剤	適用除外			無
PRTR法	印刷工程・製版工程	第一種指定科学物質の排出量 と移動量の把握 安全シートの 管理			無
大気汚染防止法	自動車排気ガス	設置事前・変更届出 公害防止管理者の選任と届出 指定物質排出の抑制 排出基準の遵守 燃料使用基準			無
浄化槽法	浄化槽の管理	浄化槽法定点検		○	無
水質汚濁防止法	印刷機清掃排水 現像液の回収	設置事前・変更届出 測定及び記録 排水基準の遵守		○	無
容器包装 リサイクル法	包装資材等	適正処理の義務			無
グリーン購入法	資材調達等	出来る限りの環境物品を購入			
安全衛生法	有機溶剤	有機則・作業主任者			
消防法		消火設備			

上記の関連法規への違反はありません。また、関係当局より違反の指摘、および近隣住民からの苦情・訴訟等も過去3年間はありません

☆静岡県生活環境の保全等に関する条例および浜松市 音・かおり・光 環境創造条例を遵守しています

特定施設

1. 4C機 枚葉機 ハイデルベルグ
2. 4C機 枚葉機 アキヤマ
3. 8C機 輪転機 三菱
4. 単色機 ハマダ
5. 単色機 ハマダ
6. 両面単色機 ハマダ
7. 単色 光文堂 グランパス
8. 単色 光文堂 グランパス52
9. 単色 オスカー2
10. 単色 オスカー2
11. 単色 黒沢デルマックス
12. エアーコンプレッサー

10. 環境上の緊急事態への準備対応

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止め、内外へ連絡を円滑にし、可能な範囲で事前にテストするとともに、定期的にその訓練を行います。さらに、緊急事態の発生やテストの後、対応策が効果的であったかどうかを検証し、必要があれば、改善を行います。

想定される緊急時の環境	準備	対応訓練等	その他
火災による焼損	廻りの可燃物の撤去 消火器での初期消火訓練の実施	定期的な消火訓練を行う 状況により消防署への通報 (TEL586-0119)	内部および外部の緊急 連絡網を整備
廃液等による汚染	ウエス等を機械廻りに常に備えておく 流出した液は早めにウエス等で拭き取る	拭き取ったウエスは産廃業者にて委託処分します 状況により市資源 廃棄物政策課(TEL453-6192)	
営業車の油漏出	定期点検にて未然防止 早めに漏出を防ぎ、専門業者へ委託する	業者による定期的な点検	

緊急事態の訓練の実施

緊急事態を想定した訓練を平成20年8月中に計画します
以降は毎年一回、総合訓練(9月)に合わせて実施して参ります

○消火訓練(避難・通報・消火)

浜北消防署の指導にて実施します

○オイル・薬品等の保管の徹底

オイル板・ウエス等の配置
消火器の配置の見直し

○従業員への周知徹底と意識向上

掲示物にて啓発活動や朝礼にて訓示

11. 苦情への対応の流れ

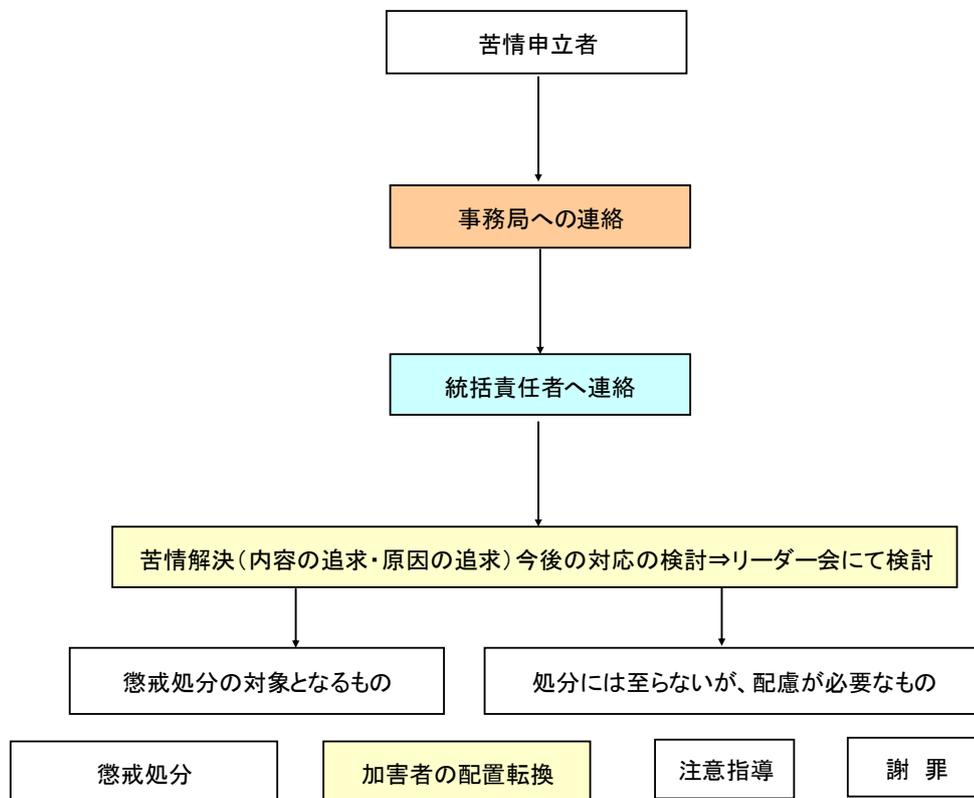
平成20年3月25日
環境責任者 若尾 行則

当社は、ご利用されるお客様や地域の皆様からの苦情の解決に努めております

相 談 窓 口

杉森印刷株式会社 エコアクション21事務局

統括責任者 若尾 行則(わかお ゆきのり)
事務局 大城 竜也(おおしろ たつや)、横田 猛(よこた たけし)
TEL: 053-588-7711 FAX: 053-588-7795
メール: sugimori@poplar.ocn.ne.jp



現在のところ外部からの苦情は一切ありません

12. 問題点の是正処置及び予防処置の結果

取り組んできたことで見えてきた問題点・・・

環境目標及び環境活動計画

①化学物質管理(PRTR 物質の削減)

【問題点】溶剤の内容を各オペレーターがしっかり把握出来ていないため、必要以上に使用しているケースも見受けられた

【回答】部内ミーティングで溶剤の内容・種類・適正使用量を周知徹底した

②廃棄物の削減

【問題点】再生紙への転換を進めている中、印刷上、再生紙から出る紙粉がブランケットに付着する量も多く(一般上質紙では、紙粉はごくわずか)それらを取り除くため、従来より溶剤を使用する機会が多かった

【回答】エコアクションの環境目標に反するので、現在、代替え品(サンプル)を取り寄せ、検討中である

【問題点】ミス・トラブルによる再印刷も期間中見受けられた

【回答】責任者会議においてマニュアルの見直しを実施し、新しいマニュアルが完成した。それをもとに、全従業員を対象に、3回マニュアルの勉強会を実施した

③グリーン調達

【問題点】資材購入、環境に配慮した商品に対してのリストができていないので、担当者によっては、従来の商品を習慣的に発注しているケースが多い

【回答】早急に部門毎の資材の取り扱いリスト(エコマーク認定品)を作成し、工場長、工務が管理する

いずれの目標・環境活動計画も取り組み始めたばかりであり、対策方法も検討し実施中であるので、目標値は変更せずにしばらくは、このまま進めることとしました。

お取引様各位

平成 20 年 1 月 21 日
杉森印刷株式会社
代表取締役 杉森由幸
環境責任者 若尾行則

エコアクション 21 の取り組みについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記の件、近年 地球温暖化問題が深刻化する中、我々事業所も事業活動に伴う環境への負担を軽減する為、当社は環境省が推奨している「中小企業向けの環境システム“エコアクション 21”」に昨年秋より、取り組んでいます。

「環境と調和する印刷事業」を目指して、節電、節水、廃棄物の減量等、環境目標を設定し、従業員一人ひとりが環境について考え、仕事を通じて出来ることから、環境の保全に取り組んでおります。

つきましては、お取引業者の皆様にも是非ご協力下さいます様お願い申し上げ、地球温暖化防止・CO₂（二酸化炭素）削減を目指してまいりたいと考えております。

また、資材購入につきましては、グリーン購入を推進してまいりますので、今後ともご提案、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

お願い

当社、構内におきましては・・・

- ・ **アイドリングストップ**
- ・ **20 km/h 以下の低速走行**

とさせていただきますのでご協力をお願い致します。